

貸し切り巡航船で行く



小さな風待湊・須賀利

三重県尾鷲市の飛び地、かつては巡航船しか交通の便がなかった須賀利は、深い入り江の地形からなる天然の良港で、江戸時代は廻船の風待ち湊として栄えました。現在、巡航船の乗客は激減し存続が危ぶまれています。この巡航船は、海の熊野古道を体験できる唯一の公共交通機関でもあります。近年、三重大学によるワークショップ、海の博物館で特別展示が開催されるなど注目されています。

特別展示のキャッチコピーとして「ゆったりと時の流れる」「人々が育んできた宝物がある」と書きました。須賀利は俗に言う「僻地、過疎、少子化、高齢化」の典型的な漁村集落です。このことに関して、ワークショップの調査結果は、2つの大きな課題を考え続けるようわたしたちに課題を残したように思えます。

どうして須賀利に見られるような地域集落を、日本は作り出してきたのか

俗に「過疎、少子化、高齢化」と否定的にいわれる須賀利のような地域集落はほんとうに不幸なのか。もし不幸であるなら、どうすればいいのか。

ぜひ須賀利をお訪ねください。そして、いま、なぜ須賀利なのかをお考えください。

引用：日本の小さな漁村 須賀利 海の博物館／三重大学

須賀利をあなたの目で観て、聞いて、気づくエコツアーに参加しませんか？

巡航船乗り場 ⇒ 貸切巡航船で特別遊覧。島々、マグロ2万匹の大漁があった場所、元須賀利なども望む

⇒ 「すがりのおんぼん」がお出迎え。須賀利産の干物を焼きながら、おんぼんの手作りおにぎりで昼食。

⇒ ガイド付きでまちなか巡り。普濟寺、マグロ漁の史跡、高宮神社、三重大学による展示の見学など。

日時：平成20年6月22日（日）※小雨決行、荒天は6月29日（日）に延期
10：30集合、15：00頃解散

集合場所：尾鷲港須賀利巡航船乗り場（地図参照）

案内人：世古明美さん、植野めぐみさん

参加費：1,500円（昼食代、保険代、諸経費含む）

※乗船代が別途1,800円必要です

募集人数：43名（先着順）最少催行人数15名

持ち物：帽子、飲み物、酔い止めなど



須賀利町

【お申込み・お問合せ先】くまの体験企画 内山（電話）090-7865-0771

{お申込方法}

必ずお電話にて住所、氏名、電話番号、年齢をお知らせの上お申込下さい。

申込先：くまの体験企画 内山（電話）090-7865-0771

申込締切：平成20年6月19日（木）17：00 ※申込み先着順

- ・キャンセルは前日までに必ずご連絡をお願いします。
 - ・巡航船すがり丸の乗船代1,800円が別途必要になります。
 - ・参加費・乗船代は当日現地にてお支払いください。
 - ・荒天が予想される場合は6月21日（土）に催行可否をご連絡します。
 - ・自己責任においてご参加ください。
- 事故怪我などは国内旅行保険の範囲内で対処することに同意の上でお申込ください。

【主催】 くまの体験企画 内山 裕紀子 【後援】 尾鷲観光物産協会
〒519-3612 三重県尾鷲市林町9-28
電話：090-7865-0771 FAX：0597-22-0471
E-mail：kumanokodo@owase.info

【尾鷲港須賀利巡航船乗り場マップ】



**須賀利のおんぼん手作り
海の恵み・お土産セット
1,000円にて承ります！**

三重交通 尾鷲港バス停から
徒歩7分

※ 自家用車でお越しの方は、
駐車場のご案内をしますので
お申し出ください。